日本語 DECnet SNA リモート・ジョブ・エントリ for OpenVMS

ユーザーズ・ガイド ／インストレーション・ガイド

AA-Q4Y6A-TE

オペレーティング・システム：日本語 OpenVMS VAX V6.0
または
日本語 OpenVMS AXP V1.5

ソフトウェア・バージョン：　日本語 DECnet SNA リモート・ジョブ・エントリ for OpenVMS V1.4A

マニュアル・バージョン：　V1.0

1994 年 4 月

本書の著作権は日本ディジタルイクイップメント株式会社 (日本 DEC) が保有しており，本書中の解説および図，表は日本 DEC の文書による許可なしに，その全体または一部を，いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また，本書に記載されている内容は，予告なく変更されることがありますので，あらかじめご承知おきください。万一，本書の記述に誤りがあった場合でも，日本 DEC は一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は，所定のライセンス契約が締結された場合に限り，その使用あるいは複製が許可されます。

日本 DEC は，日本 DEC または日本 DEC の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合，その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

© Digital Equipment Corporation Japan 1994.

All Rights Reserved.
Printed in Japan.

以下は米国 Digital Equipment Corporation の商標です。

ACMS	DECUS	Rdb/ELN	VAX CDD
ALL–IN–1	DECwindows	Rdb/VMS	VAX FMS
DATATRIEVE	DECwriter	ReGIS	VAXstation
DEC	DIBOL	RSTS	VIDA
DEC/CMS	MASSBUS	RSX	VMS
DEC/MMS	PDP	RT	VT
DECforms	P/OS	TDMS	Work Processor
DECintact	Professional	ULTRIX	
DECmate	Rainbow	UNIBUS	digital™
DECnet	RALLY	VAX	

以下は他社の商標です。

- PostScript は米国 Adobe Systems 社の商標です。
- IBM は IBM 社の商標です。

目次

まえがき vi

1 ユーザーズ・ガイド

1.1 概要 1–1
1.1.1 漢字コードの対応規則 1–1
1.1.2 EBCDIC/ASCII 変換テーブル 1–2
1.1.3 ソフトウェア構成 1–2
1.1.4 DEC → IBM ファイル転送 1–3
1.1.5 IBM → DEC ファイル転送 1–4

1.2 JSNACODE ユーティリティ 1–5
1.2.1 起動方法 1–5
1.2.2 JSNACODE コマンド形式 1–5

1.3 jsnaknjdef ユーティリティ 1–10
1.3.1 起動方法 1–10
1.3.2 jsnaknjdef コマンド形式 1–10
1.3.3 jsnaknjdef ユーティリティ内のコマンド形式 1–10
1.3.4 use コマンド 1–11
1.3.4.1 list コマンド 1–11
1.3.4.2 define コマンド 1–14
1.3.4.3 undefine コマンド 1–17
1.3.5 help コマンド 1–18
1.3.5.1 exit コマンド 1–18
1.3.5.2 quit コマンド 1–18

2 インストレーション・ガイド

2.1 インストレーションの準備 2–1
2.1.1 配布キットの確認 2–1
2.1.2 OpenVMS システムの必要項目 2–1
2.1.2.1 インストレーションの必要項目 2–1
2.1.2.1.1 サポートされるプロセッサ 2–2
2.1.2.1.2 ゲートウェイ 2–2
2.1.2.2 OpenVMS ライセンス管理機能 2–2
2.1.2.2.1 日本語 RJE のライセンスについて 2–2
2.1.2.2.2 標準版 RJE のライセンスについて 2–3
2.1.2.3 オンライン・リリース・ノート 2–3
2.1.2.4 インストレーション検証プロシージャ (IVP) 2–4
2.1.3 VMSINSTAL 2–4
2.1.3.1 特権 2–4
2.1.3.2 ディスクの空き領域 2–4

2.2 日本語 RJE のインストレーション 2–5
2.2.1 インストレーションの手続き 2–5
2.2.1.1 VMSINSTAL の起動 2–5

2.2.2 インストレーションにより作成されるファイル 2–9
2.2.3 エラー・リカバリ 2–10
2.2.4 インストレーションのサンプル 2–10
2.3 インストレーション後の手続き 2–11
2.3.1 IVP の単独実行 2–12
2.3.2 VAXcluster システムへの日本語 RJE のインストール 2–12
2.3.3 問題点の通知 2–12

A KMAP ファイル

A.1 KMAP ファイル A–1

B 日本語 RJE メッセージ一覧

B.1 JSNACODE メッセージ一覧 B–2
B.2 jsnaknjdef メッセージ一覧 B–4

索引

図

1–1 IBM-DEC 漢字コード対応図 1–2
1–2 list 表示例− 1 1–13
A–1 /KMAP=2 の場合の KMAP ファイルと変更対象ファイル A–1
A–2 KMAP ファイルの出力例 A–2

表

2–1 OpenVMS システムでのインストレーションの必要項目 2–2
2–2 日本語 RJE のファイル一覧 2–9

まえがき

本書の目的

本書「日本語 DECnet SNA リーモート・ジョブ・エントリ for OpenVMS 利用者の手引き」では、日本語 DECnet SNA リモート・ジョブ・エントリ for OpenVMS (以下日本語 RJE) の 2 つのコンポーネントである JSNACODE ユーティリティと jsnaknjdef ユーティリティの使用方法および日本語 RJE をインストールするために必要な情報について説明します。

本書の対象者

本書は次のような方を対象としています。

- JSNACODE ユーティリティを使用し、 IBM-DEC のファイル単位でのコード変換を行う利用者。
- jsnaknjdef ユーティリティを使用し、外字の登録を行う利用者。
- DECnet SNA OpenVMS Remote Job Entry と日本語 RJE とで、 IBM-OpenVMS システム間のファイル転送を行う利用者。

このような利用者は OpenVMS の基本的な知識が必要です。

IBM システムの適用業務プログラムについての情報は、本書には記述されていません。関連する IBM 社のマニュアルを参照してください。

本書の構成

本書は第 1 章のユーザーズ・ガイドと第 2 章のインストレーション・ガイドで構成されています。

- 第 1 ． 1 章

  日本語 RJE のすべての利用者を対象としています。日本語 RJE とはどのような製品なのか、どのようにして使用するのかを説明します。

- 第 1 ． 2 章

  JSNACODE ユーティリティの使用方法について説明します。

- 第 1 ． 3 章

  jsnaknjdef ユーティリティの使用方法について説明します。

- 付録 A

  KMAP ファイルについて説明します。

- 付録 B

  JSNACODE、および jsnaknjdef ユーティリティの出力するメッセージについて説明します。

- 第２．１章

  日本語 RJE をインストールするための準備事項について説明します。

- 第２．２章

  日本語 RJE のインストールの手続き、およびインストール後の手続きについて説明します。インストレーションのサンプルものせてあります。

参考文献

DECnet SNA Gateway-ST または OpenVMS のシステム管理については、以下のマニュアルを参考にしてください。

- DECnet SNA Gateway Introduction
- DECnet SNA Gateway Installation Guide
- DECnet SNA OpenVMS Gateway Management Guide

DECnet SNA OpenVMS Remote Job Entry については、以下のマニュアルを参考にして下さい。

- DECnet SNA OpenVMS Remote Job Entry Instllation
- DECnet SNA OpenVMS Remote Job Entry Problem Solving
- DECnet SNA OpenVMS Remote Job Entry Use

漢字コードについては、以下のマニュアルを参考にして下さい。

- DEC 漢字コード一覧表
- IBM 漢字システム文字セット一覧表 (N:GC18-0611)

必要に応じて、以下の IBM 社のマニュアルも参照してください。

- IBM VTAM 導入および資源の定義 (N:SC23-0011-4)
- IBM Network Control Program and System Support Programs Resource Definition Guide (SC30-3254-01)
- IBM OS/VS2 VMS System Programming Library:JES2 (GC23-0002-1)

本書で使用される表記法

本書では下記の表記法を使用します。

表記	説明
jsnaknjdef>	'>' で終了しているプロンプトは、使用するコマンド言語を示します。
[*opt-arg*]	形式の説明で、大括弧は省略可能な部分を示します。何も選択しないか 1 つの項目を選択するか、またはすべての項目を選択できます。
RET	キーボードのキーを押すことを示す場合には、キー名を枠で囲んで示します。
CTRL/x	CTRL/x 等のキーの組み合せは、 CTRL キーを押した状態で別のキーを押すことを示します。

1

ユーザーズ・ガイド

1.1 概要

日本語 DECnet SNA リモート・ジョブ・エントリ for OpenVMS (以下日本語 RJE) は，JSNACODE ユーティリティおよび jsnaknjdef ユーティリティから構成されるソフトウェア製品です。 DEC 社の DECnet SNA OpenVMS Remote Job Entry(RJE) と組み合わせて使用することにより，DEC 社の DECnet SNA Gateway-ST，DECnet SNA Gateway-CT を通して，ハイレベルな伝送制御方式で接続された IBM システムと OpenVMS システムとの間で，漢字コードを含むファイルの送受信を行うことが出来ます。

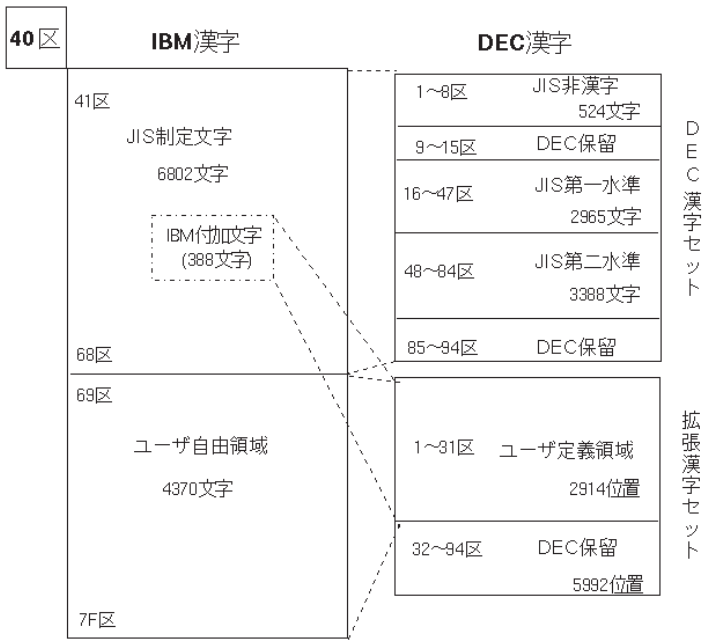
1.1.1 漢字コードの対応規則

IBM 漢字コードと DEC 漢字コードを相互に変換するための 2 バイト・コード体系の対応を図 1–1 に示します。

図 1–1 が示すように，IBM 漢字空間の JIS 漢字コードについては DEC 漢字セットの対応する各文字に対応付けられ，IBM 付加文字 (338 文字) および IBM ユーザ定義文字 (4,370 文字) については，日本語 RJE 利用者の選択により DEC 拡張漢字セットのユーザ定義領域に対応付けます。その際，次のような対応規則を設定します。

IBM 漢字セット	対応規則
JIS 制定文字	DEC 漢字セットと一対一対応
IBM 付加文字	DEC 拡張漢字セットの連続 6 区間と対応
IBM ユーザ定義文字の 1 区間	DEC 拡張漢字セットの連続 2 区間

図 1–1　IBM-DEC 漢字コード対応図



注：JIS制定文字は、JIS X0208-1983版をサポートする。

1.1.2　EBCDIC/ASCII 変換テーブル

EBCDIC/ASCII の 1 バイト・コード変換テーブルについては，日本語 RJE が提供する変換テーブルである SYS$LIBRARY:JSNARJETRA.TBL が省略値として使用されます。これ以外のテーブルを使用する場合には，JSNACODE コマンドの/CHARACTERSET 修飾子で指定します。/CHARACTERSET 修飾子については，第 1.2.2 項を参照して下さい。1 バイト変換テーブルの作成方法については，「*DECnet SNA OpenVMS Gateway Management Guide*」を参照して下さい。

1.1.3　ソフトウェア構成

日本語 RJE は次の 2 つのユーティリティから構成されています。

- JSNACODE ユーティリティ
- jsnaknjdef ユーティリティ

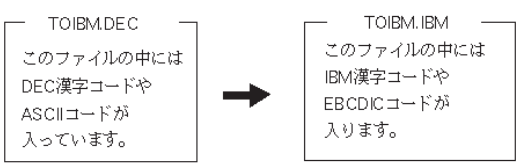
1.1.4 DEC → IBM ファイル転送

OpenVMS システムから IBM システムにファイルを転送する場合，OpenVMS システム上で作成したファイルをあらかじめ IBM 漢字コードのファイルに変換する必要があります。以下にファイル作成から転送までの手順を例により説明します。

❶ JEDI/LEIA，EVEJ などの日本語エディタを使用して，DEC 漢字コードおよび ASCII コードから成るテキスト・ファイルを作成する。

❷ ❶で作成したファイルを，日本語 RJE の JSNACODE ユーティリティを使って変換する。

```
$ JSNACODE/IPC=DEC/OPC=IBM TOIBM.DEC TOIBM.IBM
```



❸ RJE の SUBMIT/SNA コマンドにより，❷で作成したファイルを IBM システムにサブミットする。ファイル転送を行う JCL ファイルをコマンド・パラメータの先頭に指定し，❷で作成したファイルを次のパラメータとして指定する。この際，JCL ファイルには/TRANSLATE の修飾子を付け，データ部分のファイルには/NOTRANSLATE の修飾子を付ける。

```
$ SUBMIT/SNA DECTOIBM.JCL/TRANSLATE + TOIBM.IBM/NOTRANSLATE
```

DECTOIBM.DEC

```
//TOIBM JOB IBMUSER
//*
//* FILE TRANSFER JCL PROGRAM (FROM VAX TO IBM)
//*
//STEP1       EXEC PGM=IEBGENER
//SYSPRINT    DD SYSOUT=A
//SYSIN       DD DUMMY
//SYSUT2      DD DSN=FACOM.IBM.DATA(TEST),DISP=OLD
//SYSUT1      DD *
```

注意

SUBMIT/SNA コマンドのパラメータ修飾子で/NOTRANSLATE を明示的に指定しない場合は/TRANSLATE が指定されたものとして解釈されるため，JCL ファイルに対しては特に指定する必要はありません。

1.1.5 IBM → DEC ファイル転送

IBM システム上の IBM 漢字コード，および EBCDIC コードから成るテキストファイルを OpenVMS システム側に転送する場合の例を以下に示します。

❶ RJE の SNARJE ユーティリティを用いて，1 つのパンチ・ストリームをある DECnet ノードのディレクトリに割り当てる。この時，/NOTRANSLATE 修飾子を指定する。

```
$ RUN SYS$SYSTEM:SNARJE
SNARJE> USE RMTxx
SNARJE> ASSIGN DUA0:[RJE] PU1/NOTRANSLATE
```

❷ SUBMIT/SNA コマンドにより，❶で指定したパンチ・ストリームにファイルを転送するよう指定した JCL ファイルを，IBM システムにサブミットする。

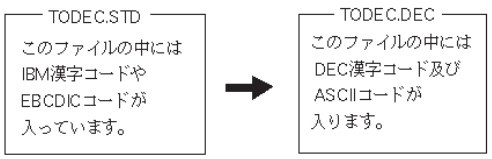
```
$ SUBMIT/SNA IBMTODEC.JCL
```

IBMTODEC.JCL

```
//TOVAX JOB IBMUSER
//*
//* FILE TRANSFER JCL PROGRAM (FROM IBM TO DEC)
//*
//STEP1          EXEC PGM=IEBGENER
//SYSPRINT       DD SYSOUT=A
//SYSIN          DD DUMMY
//SYSUT1         DD DSN=IBM.RJE.DATA(TEST),DISP=OLD
//SYSUT2         DD SYSOUT=B
//
```

❸ IBM システムから転送されたファイルを，JSNACODE ユーティリティで DEC 形式のファイルに変換する。

```
$ SET DEFAULT DUA0:[RJE]
$ JSNACODE/IPC=IBM/OPC=DEC TODEC.STD TODEC.DEC
```



1.2 JSNACODE ユーティリティ

JSNACODE ユーティリティは，日本語 DECnet SNA リモート・ジョブ・エントリ for OpenVMS (以下日本語 RJE) の本体となる部分のソフトウェアです。 OpenVMS の DCL(Digital Command Language) のフォーリン・コマンドにより起動され，その際に指定された入力ファイルを指定されたコマンド修飾子に従って変換し，出力ファイルを作成します。

1.2.1 起動方法

次のようなコマンドで JSNACODE は起動されます。

1. フォーリン・コマンドを定義します。

```
$ JSNACODE :== $JSNACODE
```

2. 修飾子，パラメータを指定して変換します。

```
$ JSNACODE/IPC=DEC/OPC=IBM  入力ファイル名  出力ファイル名
```

または

```
$ JSNACODE/IPC=IBM/OPC=DEC  入力ファイル名  出力ファイル名
```

1.2.2 JSNACODE コマンド形式

JSNACODE コマンドの形式は次の通りです。

JSNACODE

入力ファイルを修飾子の指示に従い変換し，出力ファイルを作成します

(形式)

$ JSNACODE 入力ファイル名 出力ファイル名

(コマンド修飾子)	(省略値)
/IPC=*keyword* /OPC=*keyword*	/IPC = DEC /OPC = DEC
/CHARACTERSET=ファイル名	/CHARACTERSET=JSNARJEDEF
/[NO]ESCAPE[=SS|LS]	/ESCAPE=SS（/KMAP を指定した場合は /NOESCAPE）
/[NO]EXTERNAL=外字管理ファイル名	/NOEXTERNAL
/FIELD=(START:n, END:n, LENGTH:n, KANJI|KATAKANA)	なし
/[NO]KMAP=KMAP レコード数	/NOKMAP（レコード数の省略値は 1）
/[NO]TAB	/NOTAB
(コマンド・パラメータ)	
入力ファイル：変換対象のファイル名。順編成，テキストファイル。 出力ファイル：変換した結果のファイル名。順編成，テキストファイル。	

(コマンド修飾子)

/IPC = *keyword*

入力ファイルのコード体系を指定します。ここで指定できる*keyword*は

- IBM
- DEC

です。

/OPC = *keyword*

出力ファイルのコード体系を指定します。ここで指定できる*keyword*は

- IBM
- DEC

です。

/CHARACTERSET=1 バイトコード変換テーブル名

DECnet/SNA OpenVMS Gateway Management ソフトウェアのユーティリティにより作成された，1 バイトコード変換テーブルのファイル名です。

注意

JSNACODE ユーティリティが，ファイルへのアクセス中に何らかのエラーを検出した場合はその旨を告げるメッセージを表示し，出力ファイルは消去されます。

/[NO]ESCAPE[=SS|LS]

1. /ESCAPE=SS の場合

   - /IPC=DEC/OPC=IBM の場合

     入力ファイルのデータ中に SS2(X'8E') が現われ場合，次の 1 バイトを JIS カタカナ・コードセットと解釈します。 SS2 が付加されずに X'A1' 以上 X'FE' 以下のコードが現れた場合は，全角コードの上位バイトと解釈します。/ESCAPE と/KMAP は同時には指定できません。この指定がない場合は，/KMAP の指定に従います。変換した IBM コードの全角文字列の前後にはシフトコード (X'0E',X'0F') が挿入されます。

   - /IPC=IBM/OPC=DEC の場合

     JIS カタカナ・コードセットに変換された場合は，前に SS2 を付加してからファイルに出力します。この出力ファイルは，端末またはプリンタに直接出力する最終形式のファイルを想定しています。/ESCAPE と/KMAP は同時には指定できません。指定がない場合は，/KMAP の指定に従います。

2. /ESCAPE=LS の場合

   - /IPC=DEC/OPC=IBM の場合

     /ESCAPE の指定がある場合，入力ファイルのデータ中に LS3R(ESC|) が現われたとき以後， X'A1' 以上 X'FE' 以下のコードを全角コードの上位バイトと解釈します。 LS2R(ESC}) が現われたとき以後のコードを，すべて 1 バイト・コードと解釈します。/ESCAPE と/KMAP は同時には指定できません。この指定がない場合は，/KMAP の指定に従います。変換した IBM コードの全角文字列の前後にはシフトコード (X'0E',X'0F') が挿入されます。

   - /IPC=IBM/OPC=DEC の場合

     /ESCAPE の指定がある場合，出力ファイル中に DEC 漢字コードのエスケープ・シーケンスを挿入します。この出力ファイルは，端末またはプリンタに直接出力する最終形式のファイルを想定しています。/ESCAPE と/KMAP は同時には指定できません。指定がない場合は，/KMAP の指定に従います。

   /ESCAPE 修飾子を指定せずに，グローバル・シンボル JSNARJE$ESCAPE==="SS|LS"を定義することにより，/ESCAPE=SS または/ESCAPE=LS と指定した場合と同じ結果が得られます。ただし，明示的に /ESCAPE=SS|LS を指定した場合は，グローバル・シンボルより優先されます。

/[NO]EXTERNAL=外字管理ファイル名

IBM 付加文字や IBM ユーザ定義文字を，DEC ユーザ定義領域のどの文字コードに割り当てるかを定めた外字管理ファイル名を指定します。外字管理ファイルは， jsnaknjdef ユーティリティにより作成，管理されるファイルです。/EXTERNAL を指定した場合は，必ず外字管理ファイル名を指定しなければなりません。/EXTERNAL の指定がない場合， IBM から DEC への変換の場合は IBM 付加文字や IBM ユーザ定義文字はすべて "□ " (X'A2A2') に， DEC から IBM への変換の場合も， DEC 拡張漢字セットの文字はすべて "□ "(X'A2A2') に変換します。

/FIELD=(START:n, END:n, LENGTH:n, KANJI|KATAKANA)

1 レコード内の変換の範囲を指定します。 1 回の JSNACODE コマンドの最大長は 256 バイトです。この 1 コマンド列で規定すべきフィールド数が指定できない場合は，複数回の JSNACODE コマンドを使用してください。各々の/FIELD 修飾子で指定する範囲が重なってはいけません。/FIELD 修飾子の指定がない時は， 1 レコード全体が変換の対象になります。 START の省略値はレコードの先頭で， END, LENGTH の省略値はレコードの最後の位置を示す値です。 END と LENGTH は同時には指定できません。/FIELD 修飾子を 33 個以上指定しても，33 個目からの修飾子は無視されます。/FIELD 修飾子は/ESCAPE とは同時に指定できません。

モード指定の KATAKANA と KANJI は，同時に指定することはできません。

- /IPC=DEC/OPC=IBM の場合

  モード指定の*keyword*は，出力ファイルの開始・終了モードを指定します。DEC 側の開始モードは， KMAP ファイルの指定に依存します。

- /IPC=IBM/OPC=DEC の場合

  モード指定の*keyword*は，入力ファイルの開始・終了モードを指定します。/FIELD 修飾子を指定しない場合は，先頭レコードが 2 バイト・コード開始のシフト・コード (X'0E') で始まらない限り，英数字モードから始まるものと見なします。

/[NO]KMAP=KMAP レコード数

KMAP レコード数の省略値は 1 です。

- /IPC=DEC/OPC=IBM の場合

  /KMAP を指定した時，入力ファイルと同じファイル名で，ファイル・タイプが "KMAP"であるファイルが，入力ファイルの全角・半角コード混在情報を示す KMAP ファイルであるとみなされます。ただし，論理名

JSNA$KMAPFILE が定義されている場合には，この論理名に割り当てられているファイルが優先的に使用されます。そして，その情報にしたがってコード変換を行います。 KMAP レコード数の指定がある場合， KMAP ファイルの先頭レコードから指定されたレコード数を変換する際に使用します。 KMAP ファイル内の全 KMAP レコード数が指定された値より小さい場合は，全 KMAP レコード数が指定されているものとして処理されます。/KMAP と/ESCAPE は同時には指定できません。

この指定がない場合は，/ESCAPE の指定に従います。

また KMAP コードが "Xk"で対応する入力コードが漢字コードだった場合は，KMAP コードは "XX"であると見なします。

- /IPC=IBM/OPC=DEC の場合

  /KMAP の指定がある場合，コマンド・パラメータで指定した出力ファイル中に DEC 漢字コードのエスケープ・シーケンスを挿入せず，出力ファイルと同じファイル名でファイル・タイプが "KMAP"のファイルを作成し，全角・半角コードの混在情報を出力します。または，論理名 JSNA$KMAPFILE が割り当てられているファイル名が優先的に使用されます。 KMAP レコード数の指定がある場合， KMAP ファイルに出力されるのは出力ファイルの先頭レコードから数えて KMAP レコード数分のレコードに対する全角・半角コードの混在情報です。

  /KMAP と/ESCAPE は同時には指定できません。この指定がない場合は /ESCAPE の指定に従います。

/[NO]TAB

この修飾子は/IPC=DEC/OPC=IBM の指定の場合に有効です。

/TAB の指定がある場合は，タブをそれ自体有効なコードと解釈し，タブ・コードを空白文字列へ変換することを行いません。

/NOTAB の指定がある場合は，タブ・コードを次の文字位置が 8 の倍数となるようにタブ文字を空白文字に変換します。

空白文字列の変換は， DEC コードから IBM コードへの変換の前に行われます。したがって全角コードの前後に挿入されるシフトコード文字 (X'0E', X'0F') はタブ位置の計算には含まれません。

1.3 jsnaknjdef ユーティリティ

jsnaknjdef ユーティリティは、 OpenVMS ユーザが IBM 付加文字および IBM ユーザ定義文字と DEC 拡張漢字セットのユーザ定義領域の文字との対応を設定、管理するためのソフトウェアです。このプログラムは、 jsnaknjdef コマンドにより起動されます。

1.3.1 起動方法

次のような OpenVMS のオペレーションにより起動されます。

1. フォーリン・コマンドの定義

```
$ jsnaknjdef :== $jsnaknjdef
```

2. jsnaknjdef コマンドの起動

```
$ jsnaknjdef
```

3. jsnaknjdef コマンドのプロンプト

```
jsnaknjdef>
```

1.3.2 jsnaknjdef コマンド形式

jsnaknjdef コマンドの形式は次のとおりです。

jsnaknjdef	
(形式)	jsnaknjdef
(コマンド・パラメータ)	外字管理ファイル名 (省略可)
(コマンド・オプション)	なし

1.3.3 jsnaknjdef ユーティリティ内のコマンド形式

jsnaknjdef>プロンプトに対し、ユーザは次のコマンドを入力することができます。

- use
- list
- define
- undefine
- help

- exit
- quit

以下にこれらのコマンド形式について説明します。

1.3.4 use コマンド

use コマンドの形式は次のとおりです。

use

use コマンドにより指定されたファイルに、外字管理情報を出力します。

(形式)

use 外字管理ファイル名

(コマンド・パラメータ)	(省略値)
外字管理ファイル名	なし

既存のファイルがあればそのファイルを使用対象とし、なければ新しい外字管理ファイルを作成します。外字管理ファイルは、 IBM 付加文字および IBM ユーザ定義文字が、 DEC 拡張漢字セットのどの部分と対応付けるかの情報を保存するファイルです。

注意

use コマンドにより選択された外字管理ファイルは、 jsnaknjdef ユーティリティ内で次に use コマンドを使用するまで、 define, list, undefine コマンドの対象ファイルとなります。

1.3.4.1 list コマンド

list コマンドの形式は次のとおりです。

list

use コマンドにより指定された外字管理ファイルの内容を output で指定したファイルに出力します。

(形式)

list

(コマンド・オプション)	(省略値)
output ファイル名	標準出力

(コマンド・オプション)

output ファイル名

このオプションが省略された場合は標準出力に出力します。

図 1–2 list 表示例– 1

```
jsnaknjdef> use extern.tbl
jsnaknjdef> list

                  List of the DEC-IBM extended Kanji
    File: extern.tbl

    DEC Extended Kanji  IBM Kanji        DEC Extended Kanji  IBM Kanji

            1           External                17          User 6D
            2           External                18          User 6D
            3           External                19          User 6E
            4           External                20          User 6E
            5           External                21          User 6F
            6           External                22          User 6F
            7           User 69                 23          User 70
            8           User 69                 24          User 70
            9           Undefined               25          User 71
           10           Undefined               26          User 71
           11           User 6A                 27          User 72
           12           User 6A                 28          User 72
           13           User 6B                 29          Undefined
           14           User 6B                 30          Undefined
           15           User 6C                 31          Undefined
           16           User 6C                         (END of list)

    Note : DEC Ku No. is decimal. IBM Ku No. is Hexa-decimal.
```

表中の "External"は IBM 付加文字を表し、 "User xx"は IBM ユーザ定義文字領域の第 xx 区を表しています。

1.3.4.2 define コマンド

define コマンドの形式は次のとおりです。

---

define

use コマンドにより指定された外字管理ファイルに、対応情報を書き込みます。
既存の外字管理ファイルが対象となっていた場合は、その内容を更新します。

(形式)

define

(コマンド・オプション)	(省略値)
external	なし
user IBM ユーザ定義文字領域区番号	なし
to DEC 拡張漢字セット区番号	なし

(制限)　このコマンドを実行するには OPER 特権が必要です。

(コマンド・オプション)

external

IBM 付加文字 (338 文字) について定義する場合に指定します。 external と user とは同時には指定できません。

user IBM ユーザ定義文字領域区番号

IBM ユーザ定義文字領域の文字について定義する場合に指定します。指定する IBM ユーザ定義文字領域の区番号は、 69 ~ 7F までを 16 進数で指定します。 external と user とは同時には指定できません。

注意

DEC 拡張文字セットの区の、最初と最後の文字位置に割り当てられる位置にある IBM ユーザ自由領域の文字は使用できません。

to

- external が指定されている場合

  1 ~ 26 までの区番号を 10 進数で指定します。指定された区番号から連続 6 区間に、 IBM 付加文字が対応付けられます。例えば to 21 を指定すると、 DEC 漢字セットの 21 ~ 26 区に IBM 付加文字が対応付けられます。

- user が指定されている場合

  1 ~ 29 までの区番号を 10 進数で指定します。指定された区番号から連続 2 区間に、指定された IBM ユーザ定義文字領域の文字が対応付けられます。例えば user 69 to 1 を指定すると、 IBM 漢字セットの 69 区が DEC 拡張漢字セットの 1, 2 区に対応付けられます。

define コマンド使用例を示します。

- 新規にファイルを作成する場合

```
# jsnaknjdef
jsnaknjdef> use mytbl.tbl
jsnaknjdef> define  external  to 21
jsnaknjdef> define  user 69  to 1
jsnaknjdef> define  user 6A  to 3
jsnaknjdef> define  user 6B  to 5
jsnaknjdef> define  user 6C  to 7
jsnaknjdef> exit
```

上記のコマンドにより新規に作成された mytbl.tbl の中には、次のような指定がされることになります。

IBM 漢字	DEC 漢字
IBM 付加文字	DEC 拡張漢字セットの第 21 区 ~ 第 26 区
IBM ユーザ定義文字の第 69 区	DEC 拡張漢字セットの第 1 区 ~ 第 2 区
IBM ユーザ定義文字の第 6A 区	DEC 拡張漢字セットの第 3 区 ~ 第 4 区
IBM ユーザ定義文字の第 6B 区	DEC 拡張漢字セットの第 5 区 ~ 第 6 区
IBM ユーザ定義文字の第 6C 区	DEC 拡張漢字セットの第 7 区 ~ 第 8 区

- 外字管理ファイルを更新する場合

```
# jsnaknjdef
jsnaknjdef> use mytbl.tbl
jsnaknjdef> define use 69 to 9
jsnaknjdef> exit
```

上記のコマンドにより既存の mytbl.tbl は、次のように更新されることになります。

IBM 漢字	DEC 漢字
IBM 付加文字	DEC 拡張漢字セットの第 21 区 ~ 第 26 区
IBM ユーザ定義文字の第 69 区	DEC 拡張漢字セットの第 9 区 ~ 第 10 区
IBM ユーザ定義文字の第 6A 区	DEC 拡張漢字セットの第 3 区 ~ 第 4 区
IBM ユーザ定義文字の第 6B 区	DEC 拡張漢字セットの第 5 区 ~ 第 6 区
IBM ユーザ定義文字の第 6C 区	DEC 拡張漢字セットの第 7 区 ~ 第 8 区

1.3.4.3 undefine コマンド

undefine コマンドの形式は次のとおりです。

undefine

use コマンドにより指定された外字管理ファイルの対応情報をクリアします。

(形式)

undefine

(コマンド・オプション)	(省略値)
group DEC 拡張漢字セット区番号	なし
char DEC 拡張漢字セット文字コード	なし
all	なし

(制限) このコマンドを実行するには OPER 特権が必要です。
group と char を同時には指定できません。

(コマンド・オプション)

group DEC 拡張漢字セット区番号

区対応で定義されている DEC 拡張漢字セットのユーザ定義文字をクリアする場合に使用します。指定するオプションは、 DEC 拡張漢字セットの区番号を 1 ~ 31 までの 10 進で指定します。

char DEC 拡張漢字セット文字コード

文字対応で定義されている DEC 拡張漢字セットのユーザ定義文字をクリアする場合に使用します。指定するオプションは、 DEC 拡張漢字セットの文字コードを A121 ~ BF7E までの 16 進で指定します。

all

現在定義されているすべての区域を未定義にします。新たに編集し直したい場合に使用します。

注意

区対応で定義されている DEC 拡張漢字のある区内のコードを、 char でクリアすることは出来ません。また、ある DEC 拡張漢字が文字対応で定義され

ている場合、その文字を含んでいる区を group でクリアすることも出来ません。 group , char , all を同時に指定した場合は，最後に指定したものが有効になります。

1.3.5 help コマンド

help コマンドの形式は次のとおりです。

help
(形式)
help

1.3.5.1 exit コマンド

exit コマンドの形式は次のとおりです。

exit
(形式)
exit

1.3.5.2 quit コマンド

quitコマンドにより jsnaknjdef ユーティリティを終了します。

quit コマンドの形式は次のとおりです。

exit
(形式)
quit

2

インストレーション・ガイド

2.1 インストレーションの準備

日本語 RJE をインストールする前に、インストレーションを行う OpenVMS システムでそのための準備をしなくてはなりません。

日本語 RJE をインストールすると、日本語 RJE 関連のファイルがシステム・ディスクにコピーされます。インストレーションを行う前に、システム・ディスクをバックアップしておくことをお勧めします。

注意

特に断らない限り、ゲートウェイとはすべてのトランスポート製品（Gateway-ST、 Gateway-CT ）を意味します。

2.1.1 配布キットの確認

インストレーションを行う前に、 BOM(Bill Of Materials) に記載されている配布キットの内容が揃っているかどうかを確認して下さい。もし、欠けている物があった場合には日本 DEC に連絡して下さい。日本語 RJE のキットは、磁気テープ、カセットテープのいずれかのメディアとマニュアル等のドキュメントから構成されています。

2.1.2 OpenVMS システムの必要項目

ここでは、日本語 RJE をインストールするために必要とされる OpenVMS システムの項目について説明します。インストールの前には、どのようなソフトウェア、どのようなシステム特権、そしてどれくらいのディスク・スペースが必要かを理解しておかなくてはなりません。

2.1.2.1 インストレーションの必要項目

表 2–1 には、日本語 RJE をインストールする前に満足していなければならない項目が列挙されています。

表 2–1 OpenVMS システムでのインストレーションの必要項目

項目	必要なもの
配布メディア	OpenVMS VAX システムの場合： TK50 テープ・カセット配布キットまたは 9 トラック 1600BPI 磁気テープ または「日本語 OpenVMS Consolidated Software Distribution」 CD-ROM OpenVMS AXP システムの場合： 「日本語 OpenVMS AXP ソフトウェア・ライブラリ」 CD-ROM
必要なソフトウェア	日本語 OpenVMS VAX V6.0 または日本語 OpenVMS AXP V1.5 DECnet SNA OpenVMS Remote Job Entry DECnet SNA Gateway-ST
特権	システム管理者レベル
ディスクの空き領域	OpenVMS VAX システムの場合： インストレーション中は 700 ブロック インストレーション後は 350 ブロック OpenVMS AXP システムの場合： インストレーション中は 900 ブロック インストレーション後は 450 ブロック
インストールに必要な時間	2 ~ 5 分

OpenVMS システム上にオプションの製品をインストールする際の詳細については、「*Guide to OpenVMS Software Installation*」をご覧下さい。

2.1.2.1.1 サポートされるプロセッサ　ソフトウェア仕様書 (SPD) には、正式にサポートされるプロセッサの一覧がのせられています。

2.1.2.1.2 ゲートウェイ　ソフトェア仕様書 (SPD) には、正式にサポートされるトランスポート製品のソフトウェアとハードウェアの一覧がのせられています。

2.1.2.2 OpenVMS ライセンス管理機能

2.1.2.2.1 日本語 RJE のライセンスについて　日本語 OpenVMS オペレーティング・システムには OpenVMS ライセンス管理機能 (LMF: License Management Facility) が導入されています。日本語 RJE を日本語 OpenVMS にインストールするためには日本語 RJE のライセンスを登録しなければなりません。

登録しなければならない情報は，日本語 RJE のキットと共に出荷されるプロダクト・オーソライゼーション・キー (PAK: Product Authorization Key) に記載されてい

ます。 PAK とは，実行すべきソフトウェアのライセンス情報が記載されている証書です。

インストレーションを行う前に，日本語 RJE のライセンスを登録してください。日本語 RJE のインストレーション実行中に， VMSINSTAL は日本語 RJE のプロダクト・オーソライゼーション・キーを登録し，プロダクト・オーソライゼーション・キーをロード済みであるかどうかを問い合わせます。プロダクト・オーソライゼーション・キーの登録およびロードがまだ済んでいない場合でもインストレーションを完了することはできますが，日本語 RJE は動作しません。プロダクト・オーソライゼーション・キーの登録およびロードをすることにより，日本語 RJE を実行することができます。ライセンス登録と PAK のロードを日本語 RJE の使用の前に行わなければなりません。

日本語 OpenVMS 環境でライセンスを登録するには，まずシステム管理者のアカウント， SYSTEM にログインします。登録するには次の 2 つの方法があります。

- SYS$UPDATE:VMSLICENSE.COM コマンド・プロシージャを実行します。プロンプトに従い， PAK に記載されている情報を入力します。
- PAK に記載されている情報を入力するための修飾子をつけて， DCL コマンド LICENSE REGISTER を実行します。

LMF に関する詳細は， OpenVMS ドキュメンテーション・セットの『OpenVMS License Management Utility Manual』を参照してください。

2.1.2.2.2 標準版 RJE のライセンスについて　標準版 RJE をインストールし起動するためには，日本語 RJE と同様に標準版 RJE のライセンスをシステムに登録しておかなければなりません。標準版 RJE のライセンスの登録及びキーのロードは，日本語 RJE をインストールすることにより自動的に行なわれます。従って，標準版 RJE のインストールは，日本語 RJE のインストール後に行うようにしてください。

注意

もし日本語 RJE をインストールする前に既に標準版 RJE のフィールドテスト用の PAK または TSP(Temporary Service PAK) が登録されている場合は，以下の 2 つの LICENSE コマンドを用いてそれらを UNLOAD かつ DISABLE の状態にしておいてください。これなの PAK が有効になっていると，正式な PAK が登録されません。

2.1.2.3 オンライン・リリース・ノート

日本語 RJE は、オンライン・リリース・ノートを提供します。オンライン・リリース・ノートは、インストール・コマンド起動時のオプションのパラメータに OPTIONS N を指定することにより、インストレーション中に参照または印刷することができますので，インストレーション時には、必ずお読み下さい。リリース・ノートには、最新バージョンでの機能拡張や、インストレーション・プロシジャの変更などについて記述されています。

インストレーションの後でリリース・ノートを見たい時には、SYS$HELP:JRJEA014.RELEASE_NOTES(OpenVMS VAX のみ) をタイプまたは印刷して下さい。

2.1.2.4 インストレーション検証プロシージャ (IVP)

インストレーション検証プロシージャ (IVP) は、日本語 RJE が正常にインストールされたかどうかを確認します。インストレーション中に、 IVP を実行するかどうか選択できます。 YES と入力すると、 VMSINSTAL は IVP を実行します。日本語 RJE が正常にインストールされたかどうかを確認するために、 IVP を実行することをお勧めします。

2.1.3 VMSINSTAL

日本語 RJE のインストレーションは、 VMSINSTAL を使用して行います。システムは質問に対して答えるように促します。ほとんどの質問に対しては、 YES (または Y) または NO (または N) と答えるだけです。質問は以下のように省略値も同時に表示します。

```
[YES]:
```

省略値 YES と答えるには、単に RET を入力するだけで十分です。

VMSINSTAL を起動した時には、以下の事項を確認します。

- 特権アカウントでログインしているかどうか。
- インストレーションに必要な、システム・ディスクの空き領域があるかどうか。
- すべての利用者がログアウトしているかどうか。
- DECnet がシャットダウンしているかどうか。

もし VMSINSTAL がインストールに必要な条件を満足していないことを発見したならば、このままインストレーションを続けるかどうかを尋ねます。続けるためには YES と答えます。終了させるためには NO、または RET を入力します。

2.1.3.1 特権

日本語 RJE をインストールするためには特権が必要です。システム管理者のアカウントでログインして下さい。

2.1.3.2 ディスクの空き領域

日本語 RJE をインストールする前に、システム・ディスクに適当な空き領域があることを確認して下さい。これは以下のコマンドで確認できます。

```
$ SHOW DEVICE system-disk
```

SHOW DEVICE コマンドについては、「*OpenVMS DCL Dictionary*」のマニュアルを参照して下さい。

2.2 日本語 RJE のインストレーション

この章では、日本語 RJE のインストレーションの方法について説明します。インストレーションは、ステップを踏んで進められます。

2.2.1 インストレーションの手続き

日本語 RJE のインストレーションは、いくつかの質問といくつかのメッセージの表示により進められます。インストレーションには 2 ~ 5 分かかります。

2.2.1.1 VMSINSTAL の起動

もしインストレーションのログを残しておきたいのであれば、ハードコピー端末を使用して下さい。もしハードコピー端末が無いのであれば、以下のコマンドを使用して、インストレーションのログをファイルとして作成することができます。

```
$ SET HOST 0/LOG=filename
```

ステップ 1 ：システム管理者のアカウントでログイン
インストレーションを行うためには、 VMSINSTAL コマンド・プロシジャを特権アカウントたとえば SYSTEM アカウントから起動します。

```
Username: SYSTEM  RET
Password:         RET
```

ステップ 2 ： VMSINSTAL の起動
以下のコマンドを使用して VMSINSTAL を起動します。

```
$ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL JSNARJEAnnn ddcn: OPTIONS N
```

製品名の中の*nnn*はバージョン番号です。例えば V1.4A であれば、JSNARJEA014(OpenVMS AXP 版は JSNARJEAA014 です) とします。

*ddcn*はメディアをマウントするデバイスの名前です。ここで*dd*はデバイス名、*c*はコントローラ ID、*n*はユニット番号です。

OPTIONS N はオプションのパラメータです。もしこれを指定すると，リリース・ノートを表示するのか印刷するのかというプロンプトが表示されます。もしこれを指定しないと、 VMSINSTAL はプロンプトを表示せず、またリリース・ノートの表示、印刷も行いません。

この後、以下のメッセージが表示されます。

```
          OpenVMS VAX Software Product Installation Procedure Vn.n

It is dd-mmm-yyyy at hh:mm.
Enter a question mark (?) at any time for help.
```

ステップ 3 ：インストレーションの続行の選択
もし DECnet が起動されている場合には、以下の警告メッセージが表示されます。

```
%VMSINSTAL-W-ACTIVE, The following processes are still active:
* Do you want to continue anyway [NO]?
```

ステップ 4 ：システム・ディスク・バックアップの確認
インストレーションの前に、システム・ディスクのバックアップ・コピーがあるかどうかの確認を行います。

```
* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?
```

ステップ 5 ：メディアのマウント
配布メディアからのインストレーションを行う時には、 VMSINSTAL はデバイスがマウントされているかどうかの確認を行います。メディアをマウントするよう促し、準備ができたかどうかを尋ねます。

```
Please mount the first volume of the set on ddcn:.
* Are you ready? YES
```

ステップ 6 ：インストレーションの開始
VMSINSTAL は、メディアが指定されたデバイスにマウントされ、インストレーションが開始されたことを通知します。

```
%MOUNT-I-MOUNTED, JSNARJE mounted on _ddcn:
The following products will be processed:
  JSNARJEA Vn.n

    Beginning installation of JSNARJEA Vn.n at hh:mm

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A...
```

Vn.n は日本語 RJE のバージョンに自動的に置き換えられます。例えば V1.4 のようになります。

ステップ 7 ：リリース・ノート・オプション

VMSINSTAL の起動時に OPTIONS N を選択したのであれば，リリース・ノート・オプションについてのプロンプトが表示されます。

```
Additional Release Notes Options:

    1.  Display release notes
    2.  Print release notes
    3.  Both 1 and 2
    4.  None of the above

Select option [2]:
```

オプション 1 を選択すると， VMSINSTAL は端末にリリース・ノートを表示します。表示を中止させたい時には，CTRL/C を入力します。

オプション 2 ，または 3 を選択すると， VMSINSTAL はプリント・キュー名を尋ねます。

```
Queue name [SYS$PRINT]:
```

キュー名を入力するか，または省略値である SYS$PRINT に印刷したい場合には RETURN キーを入力して下さい。

どのオプションを選択しても， VMSINSTAL はインストレーションを続行するかどうか尋ねます。続けたいのであれば YES を，中止したいのであれば NO を入力して下さい。

```
* Do you want to continue the installation? YES
%VMSINSTAL-I-RELMOVED, Product's release notes have been moved to SYS$HELP.
```

ステップ 8 ：ライセンスの登録

インストレーションが始まると以下のようなメッセージが表示されます。

```
    This procedure will register and load the Product Authorization
    Key (PAK) for the software product DECnet SNA OpenVMS RJE (English) V1.4.
    Please disregard the instructions in your
    Installation Guide for loading and registering the PAK for this
    product (SNA-RJE). This procedure supercedes those
    instructions.

    Before beginning this procedure, you must first unload and disable
    any existing Field Test PAKs or Temporary Service PAKs.  When
    disabling these PAKs, you must specify the authorization number.
    The commands to do this are as follows:

    $ license unload SNA-RJE
    $ license disable SNA-RJE /auth=<authorization number>
```

```
    Please unload and disable all Field Test SNA-RJE Licences
    before continuing this installation.
```

もし，すでに標準版 RJE V1.4 のフィールドテスト用の PAK または TSP(Temporary Service PAK) が登録されている場合，日本語 RJE のインストール前にそれらが UNLOAD かつ DISABLE の状態でなくてはなりません。そうでない場合は，"NO"を入力して，インストールを中止し，上記メッセージ中の 2 つの LICENSE コマンドにより UNLOAD,DISABLE にした後，再び最初からインストールを再開してください。問題がなければ "YES"を入力しインストレーションを続行してください。自動的に標準版 RJE のライセンスが登録され，キーがロードされます。 syuuryou すると次のメッセージが表示されます。

```
DECnet SNA RJE PAK installation completed.
```

ただし，既に標準版 RJE のライセンスが登録されている場合には，次のメッセージを表示します。

```
DECnet SNA RJE PAK has already installed.
```

以上で標準版 RJE 及び日本語 RJE のライセンス登録及び LOAD が終了したことになります。ここで登録された PAK は正式なものですので，再び日本語 RJE のインストールを最初から行う場合でもこれを UNLOAD, DISABLE しておく必要はありません。

つづけて以下の質問に対して応答します。

```
Do you want to install Nihongo RJE V1.4A now [YES]?
```

日本語 RJE をインストールするかどうかのは質問です。標準版 RJE のインストールのみで終わる場合には，ここで "NO"を入力します。この場合は，日本語 RJE のインストールは行わずに終了しますので，後で日本語 RJE をインストールする場合は，改めてステップ 2 からやり直してください。日本語 RJE のインストールを行う場合は， "YES"と入力してください。

ステップ 9 ： jsnaknjdef ユーティリティの選択
jsnaknjdef ユーティリティがすでにインストールされているかどうかの問い合せがあります。

```
* Did you install the jsnaknjdef utility [YES]?
```

jsnaknjdef ユーティリティは日本語 3270TE または日本語 PrE 製品で使用するものと共通です。すでにインストールされている場合は YES、されていない場合は NO と入力してください。

ステップ１０：インストレーション検証プロシージャ (IVP) の選択
インストレーション検証プロシージャを実行するかどうか、という質問が表示されます。日本語 RJE が正常にインストールされたかどうかを確認するために、 IVP を実行することをお勧めします。

```
* Do you want to run the IVP after the installation [YES]?
```

ステップ１１：ファイルのパージ
このインストレーションにより、前のバージョンの日本語 RJE のファイルをパージするかどうかを選択します。ディスク領域を有効に使用するためにはパージをお勧めします。

```
* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]?
```

2.2.2 インストレーションにより作成されるファイル

日本語 RJE のインストレーションにより、以下のファイルが作成されます。

表 2–2 日本語 RJE のファイル一覧

ファイル名	説明
SYS$SYSTEM:JSNACODE.EXE	JSNACODE ユーティリティ
SYS$LIBRARY:JSNARJETRA.TBL	ASCII-EBCDIC 変換テーブル
SYS$LIBRARY:JSNARJEDEF.MAR	JSNARJETRA.TBL のソースファイル
SYS$SYSTEM:JSNAKNJDEF.EXE	jsnaknjdef ユーティリティ
SYS$HELP:JRJEA014.RELEASE_NOTES	リリース・ノート (OpenVMS VAX 版のみ)
SYS$TEST:JSNARJE$IVP.COM	インストレーション検証プロシージャ (IVP)

この他に、日本語 RJE のヘルプ情報も JSY$SYSTEM:JSYHELP.HLB に付け加えられます。

2.2.3 エラー・リカバリ

インストレーションの途中でエラーが発生した場合には、 VMSINSTAL はエラー・メッセージを表示します。

以下のような条件が存在する場合には、インストレーションの途中でエラーが発生します。

1. オペレーティング・システムのバージョンが不適当である。
2. 必要なソフトウェアのバージョンが不適当である。
3. インストレーションに必要なシステム・ディスクの空き領域が不十分である。
4. OpenVMS のヘルプ・ライブラリを誰かが使用している。
5. ディスクに十分な空き領域がない。

これらの原因によるエラーメッセージについては、それぞれの OpenVMS のマニュアル「*System Message*」,「*Recovery Procedure*」をご覧下さい。これらの原因が存在する場合には、メッセージを読んで適当な処置を行って下さい。

2.2.4 インストレーションのサンプル

```
Username: SYSTEM
Password:

        Welcome to OpenVMS VAX V6.0

    Last interactive login on Tuesday, 15-MAR-1994 12:37
    Last non-interactive login on Wednesday, 16-MAR-1994 12:37

$ SET DEFAULT SYS$UPDATE
$ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL

        OpenVMS VAX Software Product Installation Procedure V6.0

It is 16-MAR-1994 at 12:37.

Enter a question mark (?) at any time for help.

* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]? Y
* Where will the distribution volumes be mounted: MKB500

Enter the products to be processed from the first distribution volume set.
* Products: JSNARJEA014
* Enter installation options you wish to use (none): N
Please mount the first volume of the set on  MKB500:.
* Are you ready? Y
%MOUNT-I-MOUNTED, JSNARJE mounted on _DEC001$MKB500:

The following products will be processed:
```

```
  JSNARJEA V1.4

 Beginning installation of JSNARJEA V1.4 at 12:37

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A ...
%VMSINSTAL-I-RELMOVED, Product's release notes have been moved to SYS$HELP.

    This procedure will register and load the Product Authorization
    Key (PAK) for the software product DECnet SNA OpenVMS RJE (English) V1.4.
    Please disregard the instructions in your
    Installation Guide for loading and registering the PAK for this
    product (SNA-RJE). This procedure supercedes those
    instructions.

    Before beginning this procedure, you must first unload and disable
    any existing Field Test PAKs or Temporary Service PAKs.  When
    disabling these PAKs, you must specify the authorization number.
    The commands to do this are as follows:

    $ license unload SNA-RJE
    $ license disable SNA-RJE /auth=<authorization number>

    Please unload and disable all Field Test SNA-RJE Licences
    before continuing this installation.

* Do you want to continue the installation [YES]? y

 DECnet SNA RJE PAK (English) has already installed.

* Do you want to install Nihongo RJE V1.4A now ? [YES]? y
* Did you install the JSNAKNJDEF utility [YES]? y
* Do you want to run the IVP after the installation [YES]? y
* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]? y
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...

     Starting JSNARJE V1.4A IVP


     JSNARJE V1.4A IVP completed successfully
 Installation of JSNARJEA V1.4 completed at 12:38

 VMSINSTAL procedure done at 12:38
```

2.3 インストレーション後の手続き

日本語 RJE のインストレーション終了後，必要に応じて次の項目を行ってください。

- IVP の実行
- VAXcluster での日本語 RJE のインストール

2.3.1 IVP の単独実行

IVP は，インストレーションが正常に行われたかどうかを検証するものです。インストレーション実行中に，IVP をインストレーションの一部として実行するかどうかの問い合せがあります。 YES と答えると VMSINSTAL は IVP を実行します。日本語 RJE が正常にインストールされたことを確認するために，IVP を実行することをお勧めします。

日本語 RJE のインストレーションの後に，日本語 RJE がシステム上で動作可能であるかを確認するために，IVP を単独で実行することもできます。

日本語 RJE の IVP は，インストレーション後 SYS$TEST ディレクトリにコマンド・プロシージャとして格納されます。インストレーション後に IVP を実行するには，以下のコマンドを入力します。

```
$ @SYS$TEST:JSNARJE$IVP
```

このコマンドを実行すると，インストレーション・プロシージャとは関係なく IVP が実行されます。

2.3.2 VAXcluster システムへの日本語 RJE のインストール

日本語 RJE をクラスタ環境下の複数のノードで使用する場合は，使用するノードに必要なソフトウェア・ライセンスがあるかどうか確認してください。ソフトウェアをインストールした後で以下の手順にしたがってください。

VAXcluster の各ノードで，以下のコマンドを実行します。

```
$ LICENSE LOAD SNA-RJE
$ LICENSE LOAD SNA-RJE-UI-JAPANESE
```

2.3.3 問題点の通知

本ソフトウェアについては，日本 DEC 所定のソフトウェア保証基準に定められた保証が提供されますので，その内容にしたがった処置を取ってください。

なお，ご不明な点につきましては，日本 DEC の各支店/営業所にお問い合わせください。

A

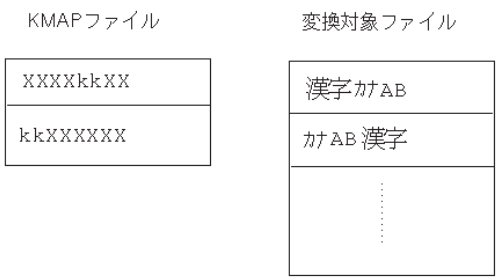
KMAP ファイル

A.1 KMAP ファイル

KMAP ファイルは， DEC 漢字セットの 2 バイト文字列と 1 バイト文字列 (ASCII+ 半角カタカナ) が LS2R ， LS3R または SS2 のコードなしで混在したファイルを読み込む (または書き込む) 際に使用する (または作成する) ファイルです。 KMAP ファイルの中では，変換対象ファイルのレコードに含まれる漢字を "XX"，英数字を "X"で表し，半角カタカナを "k"で表します。

/KMAP=KMAP レコード数で指定した KMAP ファイルには，変換対象ファイルの先頭レコードから指定されたレコード数分の情報が含まれます。

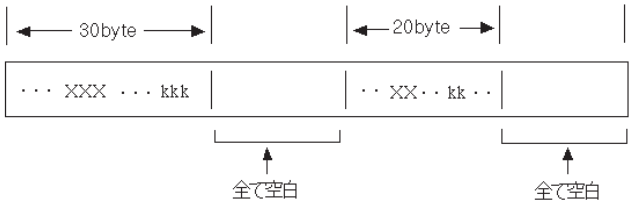
図 A–1 /KMAP=2 の場合の KMAP ファイルと変更対象ファイル



```
$ JSNACODE/FIELD=(START:1,LENGTH:30)/FIELD=(START:41,LENGTH:20) -
_$/IPC=IBM/OPC=DEC/KMAP  入力ファイル名  出力ファイル名
```

上記のような 1 レコード内のある部分のみを変換対象とした場合，作成される KMAP レコードは次のような図のものとなり，変換対象となっていない部分については空白文字 (X'20') が埋め込まれます。

図 A–2 KMAP ファイルの出力例



B

日本語 RJE メッセージ一覧

JSNACODE，および jsnaknjdef ユーティリティのメッセージは，標準の VMS のメッセージの形式で出力されます。

facility-l-ident, text

ここで，

facility メッセージを出力したプログラムまたはファシリティ名
l 重大度レベル
ident メッセージ ID
text テキスト

レベル	重大度	説明
S	成功	利用者のコマンドは正常に実行された
I	情報	ソフトウェアでとられた処置に関する報告
W	警告	修正処置を取る必要がないエラー状態
E	エラー	致命的ではないが，処理または修正の必要がある状態
F	重大なエラー	致命的であり，処理または修正の必要がある状態

B.1 JSNACODE メッセージ一覧

JSNACODE のメッセージは，*facility*= JSNACODE です。

ABNIN, Abnormal input file read
説明: 入力ファイルを読もうとしたところエラーが生じました。
利用者の対応: DCL の DIRECTORY/FULL コマンド， ANALYZE/RMS コマンドでファイルの属性を確認して下さい。 JSNACODE がサポートしているのは順次編成ファイルだけです。

ABNOUT, Abnormal output file write
説明: 出力ファイルに書き込もうとしたところエラーが生じました。
利用者の対応: 出力ファイルが作成されるディレクトリのプロテクション等を確認して下さい。

ABNKMAP, Abnormal KMAP file read or write
説明: KMAP ファイルにアクセスしようとしてエラーが生じました。
利用者の対応: KMAP ファイルの内容，プロテクション等をチェックして下さい。

ABNGAI, Abnormal GAIJI control file read
説明: 外字管理ファイルを読み込もうとしてエラーが生じました。
利用者の対応: 外字管理ファイルのプロテクション等を確認して下さい。

FLDMIS, FIELD parameter mismatch
説明: /FIELD 修飾子で指定した変換範囲が，漢字の第 2 バイト目で終了している等のエラーです。
利用者の対応: /FIELD 修飾子で指定した値を確認して下さい。

INSMEM, Insufficient dynamic memory
説明: ファイルを読み込むためのバッファが確保できません。
利用者の対応: プロセスの PGFLQUOTA， WSQUOTA の値を確認して下さい。 SYSGEN パラメータの VIRTUALPAGECNT およびシステム・ページまたはスワップ・ファイルを増やす必要がある可能性もあります。

INVPARAM, Invalid parameter value specified
説明: JSNACODE の修飾子，コマンド・パラメータで無効な値が指定されました。
利用者の対応: 指定した値を再確認して，正しい値を指定して下さい。

NFDIN, Input file not found
説明: 入力ファイルが見つかりません。
利用者の対応: 指定した入力ファイル名を確認して下さい。

NFDKMAP, KMAP file not found
説明: /KMAP 修飾子で指定した KMAP ファイルが見つかりません。
利用者の対応: 指定した KMAP ファイル名を確認して下さい。

NFGAI, GAIJI control file not found

説明: /EXTERNAL 修飾子で指定した外字管理ファイルが見つかりません。

利用者の対応: 指定した外字管理ファイル名を確認して下さい。

NORECIN, No record in input file

説明: 入力ファイルの中にレコードが存在していません。

利用者の対応: 入力ファイルの内容を確認して下さい。

NORECKMAP, No record in KMAP file

説明: KMAP ファイルの中にレコードが存在していません。

利用者の対応: KMAP ファイルの内容を確認して下さい。

TRALOAERR, Translation table load error

説明: /CHARCTERSET で指定した 1 バイトコード・テーブルを読み込む際に，エラーが生じました。

利用者の対応: 指定した 1 バイトコード・テーブル・ファイルの構造，プロテクション等を確認して下さい。

B.2 jsnaknjdef メッセージ一覧

jsnaknjdef のメッセージは，*facility*= jsnaknjdef です。

この節では，コマンドの正常終了を受け入れられない可能性のある条件を示すメッセージをまとめます。

DEC の区番号は 1 ~ 31 の 10 進数で指定してください。 IBM の区番号はで指定してください,
説明: 入力されたコードが 10 進数でないか，入力されたコードが規定された範囲を越えています。
利用者の対応: 入力コードを確認してください。

USE コマンドでファイルを指定してください,
説明: 外字管理ファイル名が指定されていません。
利用者の対応: USE コマンドを使用して，外字管理ファイルを指定してください。

索引

A

all オプション
  undefine コマンド 1–17

C

/CHARACTERSET 修飾子
  JSNACODE ユーティリティ 1–2, 1–6
char オプション
  undefine コマンド 1–17

D

DEC → IBM ファイル転送 1–3
DEC 拡張文字 1–1, 1–10
DEC 漢字コード 1–1
DEC ユーザ定義領域 1–1, 1–8, 1–10
define コマンド
  jsnaknjdef ユーティリティ 1–14
  使用例 1–16

E

EBCDIC/ASCII 変換テーブル 1–2
/ESCAPE 修飾子
  JSNACODE ユーティリティ 1–7
exit コマンド
  jsnaknjdef ユーティリティ 1–18
/EXTERNAL 修飾子
  JSNACODE ユーティリティ 1–8
external オプション
  define コマンド 1–14

F

/FIELD 修飾子
  JSNACODE ユーティリティ 1–8
  指定可能修飾子の最大数 1–8

G

group オプション
  undefine コマンド 1–17

H

help コマンド
  jsnaknjdef ユーティリティ 1–18

I

IBM → DEC ファイル転送 1–4
IBM 漢字コード 1–1
IBM 付加文字 1–1, 1–8, 1–10
IBM ユーザ定義文字 1–8, 1–10
/IPC 修飾子
  JSNACODE ユーティリティ 1–6

J

JCL
  DEC → IBM 1–3
  IBM → DEC 1–4
  サブミット 1–3, 1–4
JIS 漢字コード 1–1
JSNA$KMAPFILE 論理名 1–9
JSNACODE ユーティリティ 1–5
  修飾子 1–6
  起動 1–5
  コマンド・ラインの最大長 1–8
  コマンド形式 1–5
jsnaknjdef ユーティリティ 1–10
  define コマンド 1–14
  exit コマンド 1–18
  help コマンド 1–18
  list コマンド 1–11
  quit コマンド 1–18
  undefine コマンド 1–17
  use コマンド 1–11
  終了 1–18
  起動 1–10
jsnaknjdef ユーティリティ内のコマンド
  jsnaknjdef ユーティリティ 1–10

K

/KMAP 修飾子
  JSNACODE ユーティリティ 1–8
  jsnaknjdef ユーティリティ A–1
KMAP ファイル 1–8, A–1
  JSNA$KMAPFILE 論理名 1–9

KMAP レコード数 1–8

L

list コマンド
jsnaknjdef ユーティリティ 1–11
LS2R 1–7, A–1
LS3R 1–7, A–1

N

/NOTRANSLATE 修飾子
SNARJE ユーティリティ 1–4
SUBMIT/SNA コマンド 1–3

O

/OPC 修飾子
JSNACODE ユーティリティ 1–6
output オプション
list コマンド 1–12

Q

quit コマンド
jsnaknjdef ユーティリティ 1–18

S

SNARJE ユーティリティ 1–4
SS2 . . . . . A–1
SUBMIT/SNA コマンド 1–4

T

/TAB 修飾子
JSNACODE ユーティリティ 1–9
to オプション
define コマンド 1–15
/TRANSLATE 修飾子
SUBMIT/SNA コマンド 1–3

U

undefine コマンド
jsnaknjdef ユーティリティ 1–17
user オプション
define コマンド 1–14
use コマンド
jsnaknjdef ユーティリティ 1–11

エ

エスケープ・シーケンス 1–7, 1–9, A–1
LS2R 1–7
LS3R 1–7

カ

外字管理ファイル 1–8
概要 1–1
漢字コード
DEC 漢字コード 1–1
IBM 漢字コード 1–1
JIS 漢字コード 1–1
漢字コードの対応規則 1–1

コ

コマンド形式
jsnaknjdef コマンド 1–10

シ

シフト・コード 1–7, 1–8, 1–9

ニ

日本語 RJE
ソフトウェア構成 1–2

ハ

パンチ・ストリーム 1–4

フ

フォーリン・コマンド 1–5

メ

メッセージ
JSNACODE ユーティリティ B–2
jsnaknjdef ユーティリティ B–4

日本語 DECnet SNA リモート・ジョブ・エントリ for OpenVMS ユーザーズ・ガイド

1994 年 4 月　発行

日本ディジタル イクイップメント株式会社

〒 167 東京都杉並区上荻 1-2-1

電話　(03)5349-7111 (大代表)

AA–Q4Y6A–TE